

イエスは弟子としての重要な問題について語る

賢い管理人のたとえ話

ルカ12章41-48節

41 ペテロは尋ねました。「主よ、このたとえ話を語っておられるのは、私たちのためですか、それともすべての人のためですか。」

42 主は答えて言われた、「では、主人が僕たちに時に応じて食物を与えるために任命する忠実で賢い管理人はだれか。43 主人が帰ってきたときに、そうしているのを見つけた召使いは本当に祝福されるでしょう。44 本当のことを言うと、彼は彼に自分の全財産の管理を任せるだろう。」

45 しかし、もしその僕が心の中で「主人はなかなか帰って来ない」と思い、他の男や女の僕たちを絶えず殴り、食べたり飲んだり酔ったりするようになったとしましょう。46 その僕の主人は、思いがけない日に、思いがけない時にやって来ます。それから神は彼を半分に切り裂き、不信者たちと同じ場所に配置するであろう。

47 「主人の意志を知りながら、準備をせず、主人の望むことをしない僕は、多くの鞭打ちで罰せられるであろう。48 しかし、それを知らずに、罰に値する行為をする者は、わずかな打撃で打ち負かされるでしょう。」

「多く与えられた者からは多くが要求され、多く託された者からは、さらに多くが要求される。」

=====

注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ = ^{MT}、マーク = ^M、ルカ = ^L、ヨハネ = ^J、使徒行伝 = ^A。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書書を識別します。さらに、**赤いイタリック体**は**イエスの言葉を示します**。旧約聖書の引用は大文字で書かれています。

コンテキストダイジェスト	
位置	ユダヤのどこかで何千人もの群衆に語りかける
タイムライン	10月または11月 (33、34か月目)
イエスの生涯の文脈	第六段階: イエスの後期ユダヤ教宣教
	D. イエスはユダヤで宣教し、弟子たちを訓練する
	3. イエスは弟子としての重要な問題について語る

デイリー・ジーザス・ニュース #191

タイトル	vi. 賢い管理人のたとえ話
------	----------------

コメント：

イエスに従うという原則とは、弟子一人ひとりが、イエスが私たちに示してくださったのと同じ奉仕における卓越性の基準、すなわち忠実さを目指すことを意味します。イエスは父なる神の資源を賢明に管理する者として忠実でした。イエスの従順は完全でした。イエスの弟子たちもまた、自分たちの奉仕を、結果ではなく忠実さという同じ基準で評価します。

イエスの結論において、それぞれの僕に与えられた資源の量は異なっていたものの、彼らの奉仕を評価する基準は忠実さであったことに注目してください。キリストの僕の中には、他の僕よりも神の御心に関する知識を多く与えられている人もいます。この知識の違いは、学習機会の違い、生来の知性、あるいは奉仕の環境の違いから生じているのかもしれませんが、しかし、この世における神の目的について、私たちが深く包括的な洞察力を持っているか、あるいはほとんど理解していないかに関わらず、神は私たちが忠実な従順を通して、持っているものを最大限に活用することを期待しておられます。

霊的な知識のレベルの違いに加え、私たちは奉仕のための様々な資源を与えられています。これには、霊的な賜物、時間、健康、そして物質的な資源などが含まれます。神は私たち一人ひとりに、これらすべての資源をそれぞれ異なる量で与えてくださっています。繰り返しますが、神が私たちに期待しておられるのは、与えられたこれらの資源群を賢明に使い分けることです。それが忠実さです。

賢明な管理者は、主の御心と目的に関する知識を最大限に活用し、主への奉仕のために託されたすべての資源を最大限に活用します。彼らは、主が同じ状況に置かれた時になさるであろうことをしようと努めます。彼らは「主の名において」、主の代理人として管理します。それは、奉仕において「イエスに同意する」ことです。

私たちは、イエスの忠実さの基準で自分の奉仕を評価するのではなく、結果で自分の奉仕を判断する誘惑に簡単に屈してしまいます。そうするには、自分の結果を他の人と比較するしかありません。これは致命的な間違いです。

私たちが比較する他のすべての人、あるいは省庁は、私たちとは異なるリソースを与えられています。結果を比較することは、そもそも私たちが同等のリソースを持っていることを前提としていますが、実際にはそうではありません。このプロセスには欠陥があります。

さらに、自分の結果を比較することは本質的に危険です。自分の結果が他人より優れていたとしても、それは傲慢さにつながるだけです。一方で、比較的わずかな結果しか出なかった人は、落胆してしまう可能性があります。いずれにせよ、私たちの焦点は「イエスに同意する」ことではなく、「互いを比較する」ことへと移ってしまいます。

イエスが私たちに与えてくださった働きへの忠実さこそが、私たちの奉仕を評価する唯一の基準です。それは、宣教において「イエスに同意する」という私たちの表現なのです。

デイリー・ジーザス・ニュース #191

応用：

1から10の尺度で、イエス様があなたに与えてくださった奉仕のための資源と知識をどのように活用していますか？ 忠実な奉仕を通して、イエス様の教えに従っていますか？

忠実さを増すために今日何ができるでしょうか。